

Governor's Monthly Letter

5

2016 MAY Vol.11



PHOTO: 鈴鹿市観光協会提供

四季風景
in SUZUKA

○鈴鹿の『かぶせ茶』・伊奈富神社と紫つつじ
生産量全国第一位の三重の『かぶせ茶』は、鈴鹿山麓一帯で生産されております。摘み取る二週間前から新芽に黒いネットを被せて遮光することにより、美しい濃緑色となり、甘み・旨みが増して玉露にも匹敵するような高級茶となります。伊奈富神社は、古代からの大社で、飲食業・商売繁盛の神様として「保食大神」をお祀りします。別名「つつじ山」とも呼ばれる境内には、約5,000株の紫つつじが群生しています。平安時代からの文化財が多く、「七島池」は古代の庭園様式として名高いです。



ガバナー月信

国際ロータリー第2630地区
2015-2016年度 ガバナー岡田信春

ガバナー事務所
〒513-0809 三重県鈴鹿市西条4-20
ギャラリー オカトモ102
Tel: 059-381-2630 Fax: 059-381-2631
E-mail: 1516@rid2630.org

Rotary
CONTENTS

過去、現在・今、行動するロータリアン

- 2015-16年度 第2630地区ガバナーメッセージ
- 青少年奉仕部門委員長メッセージ：青少年奉仕について
- 一年を振り返って
- 活動報告
- 国際ロータリー第2630地区 出席報告
- 会員動静報告
- 活動報告

第2630地区のページは
スマートフォンでも
ご覧いただけます。



「青少年奉仕月間」によせて



2015-16年度
RI第2630地区ガバナー

岡田 信春

5月26・27日、いよいよ伊勢志摩サミット（先進国首脳会議）が開催されます。「世界のリーダーたちに、日本の美しい自然と豊かな文化や伝統を肌で感じてもらえる」すばらしいサミットになることを願ってやみません。そして、28日からは、全世界120万ロータリアンの一大フェスティバル、国際ロータリーソウル大会。参加人数約5万人の史上最大規模の大会となる模様です。イベント盛りだくさんの、記憶に残る大会になることでしょう。皆さんとKINTEXでお会いできるのが今から楽しみです。

さて、今月は「青少年奉仕月間」です。標準ロータリークラブ定款第5条には「奉仕の第5部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクトを通じて、青少年及び若者にとって、好ましい変化がもたらされることを目的とするものである」と記載されています。そして当地区においてもその目的を達成すべく、「インターアクト」「ローターアクト」「青少年交換」「青少年育成」の各小委員会をはじめ、各クラブ、ロータリアンの皆さんが青少年の模範たるべく、諸活動に熱心に取り組んでいただいているものと存じます。

私も以前から、微力ながら「青少年交換」事業に携わっており、派遣・受け入れ双方の留学生に対し、スピーチの仕方から留学に際しての心構えにいたるまで、かなり厳しく指導してまいりました。物見遊山の留学に終わらせるのではなく、国の将来を担うにふさわしいリーダーシップと郷土に対する愛情、グローバルな見識を兼ね備えた留学生を、1人でも多く世に送り出すことができればと常に念じている次第です。留学期間を終えた青少年の、何とも頼もしい成長ぶりを目の当たりにすることが何よりの楽しみとなっております。

ところで皆さんにお願いがあります。それは「ローターアクト」についてです。「ローターアクト(RA)」とは、18～30歳の若者を対象に、奉仕を指向する指導者を育成するためにロータリークラブが提唱する団体です。当地区には、現在8つのRAのクラブがありますが、歴史あるクラブほど会員減少に悩んでいます。高校のクラブ活動としてすっかり定着した「インターアクト」と違い、RAは、その維持存続がとても難しいのです。RAを盛り上げるためには、提唱クラブだけでなく、当地区すべてのクラブ、ロータリアンのご理解とご協力が欠かせません。見所のある若者は、あなたのすぐ近くにもいるはずです。積極的に青少年奉仕プログラムへの参加を呼びかけてください。そして心をこめて若者たちを歓迎しましょう。ロータリーのみならず地域の、さらには世界の未来を切り開く若者たちの発掘と育成に、ともに情熱を注ごうではありませんか。



青少年奉仕部門
委員長

長瀬 隆

奉仕の第5部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされる事を目的としています。インターアクトクラブ、ローターアクトクラブを設立されたクラブ、交換学生を派遣または受け入れてみえるクラブ、出前講座等で活動されているクラブは青少年奉仕月間だけではなく一年中活動されてみえると思います。この機会にあまり青少年奉仕活動に無関心な方のために地区青少年奉仕部門の4委員会の活動を理解していただきたいと思います。

①インターアクト小委員会

今年度実施予定だったIA学生韓国派遣事業は韓国国内のMERS発症により、面接と第一回オリエンテーションの段階で中止を決定しました。8月15・16日にIA年次大会が、ホスト関商工高校スポンサー関中央RCにて開催されました。また各地協議会として7月12日に飛騨地区、10月31日に中・東濃地区、11月8日に三重県地区、12月13日に岐阜・大垣地区にて開催されました。主催されたホスト校、スポンサーRCの皆さんには大変な努力と支援を賜り厚くお礼申しあげます。これからもIA活動へのご助力よろしくお願い致します。

②ローターアクト小委員会

RACは18～30歳の青年男女を対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成するためRCが提唱する。世界的な団体です。当地区では2015～16年度は本巢RACの吉村伸一地区代表を中心に、9つのRAC総会員数100名余りで活動してきましたが、残念ながら名城大学RACがキャンパス移

転のために活動を継続出来なくなり、3月5日に閉会式典を行いました。現在は30名の減員となっています。課題は既存クラブの会員増強と新クラブの増設です。RCの会員の皆様のご協力とご支援を何卒よろしくお願い致します。

③青少年交換小委員会

温かくて大切な家族や素晴らしい友達に囲まれている環境から、試練が待ち受けているであろう見知らぬ土地へ一人で飛び出そうとする道を、敢えて選択する頼もしい若者たち。昨年の夏には5名の派遣学生が帰国し、それぞれ自分の進路を逞しく歩み出していますが、現在は6名が米国、豪州、仏、スウェーデン、ノルウェーで充実した海外生活を送っています。また今年の夏にも6名の派遣予定の学生が厳しいオリエンテーションを乗り越え、今や遅しと待ち構えている状況であり、新たにカナダとの交換も始まります。彼らが1年間で体験した異国の文化や語学の習得は、その後の人生に大きく羽ばたいていける糧となることでしょう。

昨年の夏には米国、仏、スウェーデンから4名が来日、今年1月に豪州から来日した2名を加えて各地のクラブでお世話になっております(残念ながら米国1名は早期帰国)。

今年も来日学生、派遣候補生と一緒に日本文化の一つである作陶研修、鵜飼見学、4地区合同のスキーの集い、夏期研修旅行といった意義深い事業を体験しているところです。

④青少年育成小委員会

中学生、高校生のキャリア教育の一環として「出前授業」・「おじさん先生」などの名目でキャリア教育のお手伝いを行ってきました。教育委員会や商工会議所を巻き込んだ成功事例について今年度末にもDVDを再度各クラブに配布していただきます。参考にさせて頂ければ幸いです(高山中央RC出前講座の記録)。しかしこの事業を行っているRCは限定的で、今一つ広がりがないことも事実です。「青少年の育成」事業は、実はもっと多くの事例があります。鈴鹿西RCの13回目となる鈴鹿市児童詩コンクールもその一例です。より広い観点から支えて行くことがこの委員会の使命かもしれません。

2630地区 ガバナー補佐挨拶



一年間のロータリー活動を振り返って

岐阜Aグループ ガバナー補佐
山口 八郎

AGを拝命して早くもその任期が終わろうとしています。

はたして岡田信春ガバナーと岐阜Aグループの5クラブとの間においての活動が効果的に運用されるようにサポートすることができたかどうか疑問を感じずにはいられません。AGとしての職務が全うできるように岡田ガバナーを始めとするスタッフの皆さんの配慮により、AG研修会等の会議が幾多にわたり開催されました。これらの会議を通じロータリーをより理解し、それによって、充実したロータリー活動を行うことができました。

また在任中は岐阜BグループAG渡辺敏昭様を始めとする11名のAGの皆さんの温かい友情を感じずにはいられませんでした。奉仕活動事業はロータリアン一人一人の考え方があり、大きな枠組みとしての方向づけはあるとしても、世界理解、世界親善、世界平和の推進であることは間違いありません。

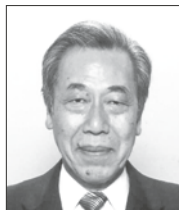
任期中は色々とお世話になり、ありがとうございました。



一年間のロータリー活動を振り返って

岐阜Bグループ ガバナー補佐
渡辺 敏昭

7月からのガバナー補佐として岐阜Bグループ7クラブ訪問により、各クラブとの情報伝達と親睦を図ってきました。8月の7クラブ合同ガバナー公式訪問では例会後の各クラブとの協議会において岡田ガバナーとの活発な意見交換がありました。9月19日の岐阜Bグループ7クラブ合同IMのテーマ「地域活性化と青少年奉仕」として岐阜東RCが支援している片親家庭の若者に将来への夢と希望を語ってもらい、岐阜東高校のインターアクトの学生には年間の地域社会への活動と国際交流について生き生きとした活動に感動させられました。2月中間のクラブ訪問では岐阜Bグループ7クラブが年初めの地域活動方針に向かって積極的に活動されていました。最後に岡田ガバナーと同期の各グループAG各位、地区役員の皆様、各クラブの会員の皆様に厚く御礼申し上げます。まだ残された任期も有りますが引き続き岐阜Bグループ7クラブと、岐阜Aグループとの情報伝達と親睦を深めながら責務を果たすことを約束して、今年度ロータリー活動の報告とさせていただきます。



一年間のロータリー活動を振り返って

岐阜西濃グループ ガバナー補佐
三輪 高史

今年度、ガバナー補佐として地区協議会に出向し、研修会をいくつか受ける事により、ロータリーの意義を再認識する機会となりました。

私たちロータリークラブには、職業奉仕という理念があり、お互いに企業活動を通じて様々な形で社会に奉仕させて頂いています。

ロータリークラブでは毎年RI会長方針のもとで、各クラブの会長が年度方針を決めてクラブ運営をすることになるのですが、必ず会員拡大がテーマとなります。

どんな組織でも、会員が減少するような事になれば、事業活動に大きく影響します。

ロータリークラブにおいて、会員を増やすためには、まず、それぞれのクラブ会員が、ロータリーメンバーとしてというよりも、一人の企業経営者としての人格形成に努力する姿勢をいかに持つかという事が最も大切なのではないかと考えます。

私自身も、今後ともロータリーメンバーとしてバッジに恥じない人生を送れるよう日々精進してまいります所存であります。



一年間のロータリー活動を振り返って

岐阜東濃グループ ガバナー補佐
鈴木 捷也

ガバナー補佐の責務：ガバナーの方針に従い、ガバナーを補佐し、各クラブの活動をしやすいこと、会員の意見・質問をDG・地区に伝え、回答を聞いて会員に伝えることがガバナー補佐の責務であり、ガバナー補佐としての責務はまずまずの結果だったと思います。

IM：中津川市で11月29日13：00～19：30、医学博士で落語家の安部正之氏の「笑いが免疫力を高める」講演と芸名・春雨や落雷さんの落語でゲラゲラ笑い。鉄道ジャーナリストの梅原淳氏の講演で勉強の2部制で行いました。岐阜東濃グループ111名の会員参加と350名ほどの市民を交えて、有意義な時間で成功裏に終えることが出来ました。

地区へのお願い：ロータリー財団、米山奨学の学友会メンバーで卓話が可能な人(元国連難民高等弁務官の緒方貞子さん、作家の牧野高吉さん、指揮者の松尾葉子さん、宇宙飛行士 角野直子さんetc)のリストを出して欲しいと思います・・・色々な企画が出来ます。



一年間のロータリー活動を振り返って

東海北陸道グループ ガバナー補佐
羽田野 優男

ガバナー補佐としての一年間を振り返る時、東海北陸道グループ8クラブの会長・幹事様をはじめ、各クラブの多くの会員の皆様に支えられ、素晴らしい経験を積むことができたことに感謝申し上げます。今年度RI会長テーマ「世界へのプレゼントになろう」をうけて、岡田ガバナーは「過去、現在・今、行動するロータリアン」を提唱されました。即ち、「ロータリーは目的を実践する組織、ロータリアンとは理想とする奉仕の理念を実践する人」ということです。このことにつきましては、「ガバナー月信」や地区各委員会主催の研修会・ガバナー公式訪問を通じて発せられるガバナーのメッセージを真摯に受け、ガバナー補佐のクラブ訪問時、或いはグループ会長・幹事会時には出来る限り意のあるところをお伝えしてきたつもりです。

この一年間、グループ皆様の友情あふれる心遣いを得て、大過なく終えることができますこと、厚くお礼申し上げます。



一年間のロータリー活動を振り返って

濃飛グループ ガバナー補佐
洲岬 孝雄

多くのロータリアンに教えをいただき、支えられ、一年間楽しく務めさせていただきました。当地区12名の各グループ補佐、それぞれロータリーへの考え、思いがあり、一年自分自身の活動に参考になることは大いに取り入れさせていただきました。岡田ガバナー、本年度五つの重点目標を掲げられ、中でも会員増強と財団寄付への推進。この目標に対しまして、達成できたクラブもあるでしょうし、努力目標で終わってしまったクラブもあると思います。しかし、この二つはこれからも継続的な事業ですので、来年度以降の各クラブの熱意に期待したいと思います。ロータリーには数多くの財産がありますが、その中でも人材によるものが最も大きいことを感じ入りました。ですから、人と人とが顔を合わせる例会が第一歩であることを、今一度認識していただきたいと思います。次年度は当グループより釧田ガバナーの誕生です。一年のご活躍をお祈りし、お禮とさせていただきます。



一年間の活動を振り返って

桑員グループ ガバナー補佐
羽場 康廣

本年、岡田信春ガバナーの下で桑員グループのガバナー補佐の役務いただき、無事に事故無く任期を全うできたことを、桑員グループのロータリアンの皆様方また地区の役員、委員の皆様に感謝いたします。ガバナー補佐として各クラブを訪問させていただき、各クラブの特色あるクラブ奉仕、地域への奉仕活動をみせていただき、私自身これまでは自分のクラブのクラブ活動しかみていなかったで、とても勉強になりました。

このガバナー補佐の経験は、ロータリーの言葉で表わすと『入って学び、出でて実践』。これまでのクラブ会長での経験とは違った形でロータリーの勉強をさせていただきました。この役務の経験は、私のこれからのロータリー人生に役立てたいと思います。

昨今のロータリークラブは国際ロータリー 2013年版手続要覧の改正にもありますように、大変ロータリークラブのイメージが変わりつつあるように思われます。また各クラブに於いても各自の考えにもありますが、出席率のことをあまり重要視していないし、入会への職業人であること、同業者等も深く問いません。ほかにも色々あるようですが多種多様の会員の入会等々、これにより各クラブが打ち出し地域社会への奉仕活動の範囲が、そして層も広がり、また、ロータリー財団における地区補助金にて規模の小さい短期の奉仕活動も支援（奉仕）し易くなりました。このようなことを各クラブのロータリアンが勉強して、また理解をしていただき会員の増強、そしてクラブで今続けている奉仕活動にプラスして、新しく支援（奉仕）活動を計画実行して、地域社会に生きたロータリークラブの名前を広げていただきたいと思います。短い一年でしたが桑員グループの会員の皆様方に重ねてお礼を申し上げます。



一年間のロータリー活動を振り返って

四日市グループ ガバナー補佐
生川 博也

四日市グループAGの生川 博也です。今年一年を振り返りました。

一年間で3～4回、四日市5ロータリークラブ（以下5RCとします）を訪問させていただきました。その時に各クラブの活動状況等を聞かせ頂いたり、ガバナーからの諸事柄の伝達をしたりしました。6回開催される、会長幹事会の取りまとめもAGの大きな仕事です。

9月のインターシティ・ミーティングの中で認証状伝達式をさせていただきました四日市大学ローターアクトクラブ。紆余曲折ありましたが、無事設立できたことを四日市5RCの皆様に感謝申し上げます。

11月の地区大会は岡田ガバナーの出身地である鈴鹿で開催されました。会場になった鈴鹿サーキットは鈴鹿市を象徴する施設です。2630地区の会員の皆様には、ご不便をおかけしましたことも含めて忘れられない地区大会になったのではと思います。

大きな問題もなく年度を過ごさせていただき有難うございました。皆様のお蔭でロータリアンとして少しは成長出来ていれば幸いです。



一年間のロータリー活動を振り返って

鈴鹿・亀山グループ ガバナー補佐
中村 薫

岡田ガバナー地元のガバナー補佐を拝命して最初から思っていたことですが、大変なのか、それとも楽なのか、今振り返ってもどちらとも言えません、他のAGがどんなふうなのか分からないからです。でも良かったことはたくさんありました。

- ・ガバナー事務所が自宅、会社まで100mという近さで親近感もてた
- ・常にガバナー補佐という役職を忘れずいられて、緊張感を保ちやすかった
- ・ガバナーの行動、ガバナー事務所の活動、地区幹事さんの活躍等を身近に感じながら活動できた
- ・他のAGも同じと思いますが、グループのロータリアンと広く友人となり地区役員、他グループの方とも広く知りあう事ができた
- ・ロータリーの奉仕活動を知るうえでこの一年は、何十倍もの成果があった

この一年半の間、会議、研修、セミナー、討論会、親睦会、式典、社会活動などたくさんのロータリー活動に参加しました、そしてたくさんの経験、学習、体験を行い、自分の人生においても確実に進歩を感じることができる期間となったと思います。

役職が人を作ると言いますが、私も少しは成長できたかなと思います。

今後はロータリー、また地域において、この経験を生かして、さらに貢献できるように頑張りたいと思います。皆さんありがとうございました。



一年間のロータリー活動を振り返って

松阪・東紀州グループ ガバナー補佐
坪井 常弘

松阪・東紀州グループの皆様、1年間大変お世話になりました。

クラブの会長・幹事始め会員の皆様とロータリーの思いを共有できたことが私の最大の収穫です。ガバナー補佐と言うと何かと忙しい任務と思われるかもしれませんが、他のクラブの事を知る絶好の機会です。「入って学び 出でて奉仕せよ」と言うように自分のクラブだけでなく他のクラブでも学べる機会となり、私のロータリー人生に最良の影響を与えてくれました。

これからは、このクラブに入りたいと思ってくれる人が沢山現れる日が必ず来る事を信じて、活発な活動を続けていきたいと思っています。

最後に、岡田ガバナーにはロータリーの事を沢山教えていただき感謝しています。

「もしもロータリーに入っていなかったら、自分の人生どうなっていたのだろう」と考える事があります。沢山のご縁が私の人生を支えてくれます。ロータリーに感謝!そして恩返し!更に奉仕!



一年間のロータリー活動を振り返って

中勢・伊賀グループ ガバナー補佐
飯田 勉

ガバナー方針である「会長賞に挑戦しよう」を関係クラブにお願いすることを中心に、訪問させていただきましたが、身に余るほどのおもてなしをいただき、心から感謝の一年となりました。各クラブともクラブの歴史にあわせた様々な活動内容をお持ちであり、内容の豊富さに加え、活動成果が年々充実されております。本当にありがとうございました。

一方、IMでは、皆様には大変お世話になりました。青少年育成にあたり、国際社会を見据えて教育に携わっておられる現状、社会に出て国際企業の一員として日々鍛錬を積まれている現状に触れていただき、私たちロータリアンが、どのように青少年教育に関わっていくか、考えさせて頂きました。セントヨゼフ女子学園の先生・生徒の皆様、米山学友の魏敏氏、竹腰パストガバナーによる非常に贅沢な3本立の講演を実現させて頂いたばかりか非常に多くの方々にご参加頂きました。

一年間本当にありがとうございました。



一年間のロータリー活動を振り返って

伊勢・鳥羽・志摩グループ ガバナー補佐
杉山 克雄

来る一年は永い、されど終わった一年はあっという間。

今年度、AGとして伊勢・鳥羽・志摩地区6クラブを年4回訪問し、各クラブ会長、幹事様又、会員皆様と親しく接する機会を得られたこと、私にとって大変有意義なロータリー活動だったと感謝しております。

岡田ガバナーの「地区方針テーマ」を達成すべく、AGとしての任務にあたり、訪問時にはロータリーの基本的なことが大事と考え、その旨伝えてきました。特にロータリーの情報元として「ロータリーの友」が如何に奥深いかを説いてきました。訪問時感じた事は、各クラブには歴史と伝統があり良い意味での温度差があり勉強となりました。

AG研修セミナーから始まり、PETS、地区研修・協議会等々勉強してきた事、機会あるたびフィードバックしていきたいと考えます。

AGの役職に選ばれ無事全う出来た事、皆様に感謝し、報告と致します。



一年間のロータリー活動を振り返って

情報部門 委員長
東 和伯

①本年度の地区情報委員会の活動と結果

本年度も昨年に続きクラブの定款・細則・組織図を確認させていただきました。12グループ78クラブ全て提出して頂きました。昨年は定款がないと思われるクラブが7クラブ、今年は当初2クラブの提出がありませんでしたが、その後1クラブから提出があり、1クラブは検討中との事で最終的には全てのクラブで定款が定められると思います。ただ、コピーを補正しての提出も幾つかあり、当委員会の作業は完結したとは思っていません。CLP採用クラブは昨年度は39クラブだったのが今年は59クラブと徐々に形勢は整いつつあります。定款・細則に対する2630地区内クラブの意識の高まりを感じます。

2回の地区研修協議会での研修と、委員会のチェック作業がクラブの意識の高揚に役立ったと思っています。ただ、グループ内でも温度差の大きさを感しました。定款の内容は、基本的にはコピーと変わらないが、モデル細則は骨組みだけであって各クラブにあった細則を期待しています。今後も3年に1度の規定審議会での手続き要覧の見直しがあります。2016年は多分4月に規定審議会が開かれます。当情報委員会では3年に1度の定款・細則の見直しが必要と啓蒙し続けなければならないと思っています。

②ロータリーの2本の柱として奉仕と親睦

大概の会長は、年度初めの挨拶で親睦と奉仕の言葉を入れます。この2つはロータリーを支える大きな柱であります。親睦が失われればクラブが崩壊するでしょうし、奉仕がロータリー運動の大きな目的である事は疑いない事実です。しかし、我々ロータリーの親睦と奉仕の概念は世間一般の人たちと異なる次元の解釈をしています。嘗てFellowshipを親睦と訳していた手続き要覧。我が国では飲み会やゴルフ、親睦旅行が親睦の本質と思っている人が多いようです。例会における一連の活動を真の【親睦】とよびます。

例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践する。これがロータリーライフの理想と解説しています。食事を共にしながらの例会、まさに親睦活動です。例会への出席のあり方も学んで貰わねばとその啓蒙活動を推進しなければと思っています。



一年間のロータリー活動を振り返って

会員増強部門 委員長
堀場 巖

国際ロータリー第2630地区の会員数は、2014-15年度末3,057名で7名増となりました。16年間右肩下がりの状況から、素晴らしい成績でした。

ガバナー、バスターガバナー、ガバナーエレクト、ガバナー補佐、各クラブ会長様等、皆様のご活躍で達成されました。

本年度も、次期会員増強セミナーでのRI前会長 田中作次様、国際ロータリー第2750地区公共イメージ支援コーディネーター 司葉子様の特別講演集を参考に、各クラブでは会員増強・維持・退会防止・女性会員勧誘を推進していただいております。

会長・幹事・クラブ増強委員長には2016年2月～3月にかけて、クラブ会員数別増強討論会を『退会防止・会員維持・増強・女性会員獲得』をテーマに3分科会に分かれて、各ガバナー補佐と活発にフリートーク・討論会を開催致しました。そして、昨年に続き国際ロータリー第2630地区の会員増強につなげるべく、現状報告と討論を活発に実施し、それらを参考に2015-16年度末に、各クラブどのような成果が出るのかが今から楽しみです。

例会の魅力に取り組み、会員増強ができて、各クラブが一層活性化することを願っております。



一年間のロータリー活動を振り返って

広報部門 委員長
伊藤 松寿

今年度の前半は、前年度に米山記念奨学委員会と共同で制作したDVD「米山記念奨学会活動紹介」をもとに、啓発活動を行いました。(ネパール出身のパウデルリサブさん、ミャンマー出身のデージータンさんが出演)

また、山松健一前委員長がまとめられた、要約「ロータリーとは」という文章を各クラブへ配布を行いました。

年度後半には、ロータリー・ウェブサイト「My Rotary」のアカウント取得方法の手順(多くのリソースを得るために)のスライドを作製し、卓話の依頼のあった各クラブで紹介、説明に努めました。

ロータリー雑誌、「ロータリーの友」についても、これまでの歴史的変遷、友の意味するところやその意義などをスライドにまとめ、卓話の機会に活用しました。



語り実践する職業奉仕

職業奉仕部門 委員長
岩田 勝美

昨年鈴鹿医療科学大で行われた地区研修・協議会で、元気にコメント頂いたカウンセラー伊達則彦PGが6月に急逝されました。今年度から職業奉仕研究の大家、服部芳樹PGにカウンセラーをお願いすることになり委員会活動が更に活発になってきました。

岡田信春ガバナーはじめ委員会メンバーが、ロータリーの基本中の基本「職業奉仕」を逸脱し、限りなく社会奉仕団体へと向かおうとしている最近のRI方針に危惧し、10月11日の研修会、2月14日の3委員会合同研修会を開催し、各クラブの職業奉仕委員長に勉強して頂きました。

自クラブに持ち帰って委員長卓話や討論会をするなど、願った形は少なく地区委員を卓話に呼ぶといった形に留まっています。岡田信春ガバナーは「卓話要請で済ませるクラブに活性化は無い」と断言されました。全てのロータリアンが職業奉仕を語り実践できる理想にはまだまだですが、この理想を永遠の課題として活動し続けたいと考えています。



一年間のロータリー活動を振り返って

社会奉仕部門 委員長
前田 敬太郎

第2630地区に於きましては、各クラブの特色が出ていたようでした。78クラブそれぞれの工夫と勘考が見られた社会奉仕活動は、簡単なようで難しく、時間と場所との競争になりますし、時間と場所を間違えると笑われることがあります。

社会奉仕活動にはいろいろな活動が含まれているような感じがいたします。社会環境保全のための清掃活動があり、里山つくろいと、海・山・森林整備交流事業、よろず相談室、身障者自立プロジェクト、東日本震災復興支援プロジェクト、出前講師、フィリピンの子供たちと野球交流等の事業を見ていくと社会奉仕活動は国際奉仕も職業奉仕も青少年奉仕も含まれているように感じます。このような思いは私だけでしょうか。

2630地区が奉仕プロジェクト委員会を作られ、委員会を小委員会されたことは納得がいきました。



新世代部門の一年を振り返って

青少年奉仕部門 委員長
長瀬 隆

暑い7月の、しかも斐太高校野球部の岐阜県大会決勝戦で燃えている下呂で、飛騨地区IAC協議会から始まった委員長としての出席は20回になりました。

1、嬉しかった事、楽しかった事。

- ①四日市大学RACが設立された事。
- ②4地区すべてのIAC協議会に出席し、高校生の活動報告を聞いた事。
- ③去年は台風の影響で中止になったIAC年次大会に出席できた事。
- ④松阪RAC創立40周年記念式典に出席できた事。
- ⑤大垣西ローターアクトクラブが復活した事。

2、辛かった事、寂しかった事、申訳なかった事。

- ①名城大学ローターアクトクラブが解散した事。
- ②多治見RAC、名張RACが活動を中止している事。
- ③平日に開催の委員会、自治会等の仕事で日曜日開催の委員会に欠席した事。



一年間のロータリー活動を振り返って

国際奉仕部門 委員長
宮崎 弘夫

■クラブが持続的に国際「奉仕」活動を行う意味について
地区国際奉仕部門委員会は、地区内78のクラブに「世界の恵まれない人々への支援をしよう」と呼びかけるロータリーの基本指針をご理解いただくために、積極的にクラブ例会で卓話を行い国際奉仕活動への参加を促しました。また国際奉仕活動を行うためにWCS補助金申請をして頂いたクラブへも積極的にそれらを認め、それを実践したクラブがより国際奉仕活動を持続的に取り組むことができるよう共に学びました。

クラブが活発に、また持続的に奉仕プロジェクトを計画し実践することは、全てはクラブが報いられることを学びました。私たち地区役員は各委員会のテリトリーはあるものの、全ての「奉仕」はロータリーの「理念」と理解し、各個のロータリアンとクラブがさらに「奉仕の理想」を育むことに努めたいと思います。

地区委員会委員長初年度の私は、「ロータリーで奉仕活動を行う意味」について考えた一年間でした。ロータリー全てに感謝します。ありがとうございました。



一年間のロータリー活動を振り返って

ロータリー財団部門 委員長
渡邊 忠彦

ロータリー財団未来の夢計画 (Future Vision Plan) が開始されて3年になります。財団委員会の委員諸子も新システムに慣れて来て、円滑に委員会活動が出来るようになってきました。学友会主催の「ポリオ撲滅チャリティーコンサート」では、出演してくれた音楽家の学友は勿論のこと、各クラブのご協力によりそれなりの成果を収めることが出来たのは嬉しい限りです。また、剣田DG年度の地区財団活動資金は205,022ドルであり、地区補助金総額は102,511ドルです。今回募集した地区補助金プロジェクトには22件(総額63,000ドル余)の応募がありました。地区補助金奨学金2名分(40,000ドル弱)が何とか確保できましたが、最後の国際親善奨学生に支給した奨学金は26,000ドルでありましたので、現在の地区補助金奨学金20,000ドルは如何にも少な過ぎると思います。「DDF残高から奨学金資金を確保出来るように!」という決議案を規定審議会に提出しているが如何なることでしょう。



一年間のロータリー活動を振り返って

米山記念奨学部門 委員長
後藤 博美

米山記念奨学部門委員会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間最大の奨学団体です。よって4月からの奨学金支給開始にあたり、一年間を通じて各月の活動があります。

4月には、新奨学生、世話クラブ・カウンセラー大学指導教官のオリエンテーションを開催（4・5月分の奨学金支給）、6月からは世話クラブRC例会場で、支給する。9月には、奨学生中間報告会・激励会の開催年2回のレポート提出を兼ねて行う、10月には次の年度奨学生の指定校選定、応募学生の受付開始、米山月間に因んで卓話依頼クラブに奨学生及び委員会委員の派遣、11月には、応募奨学生一時選考の書類のやり取り開始、面接官のオリエンテーション開催実施12月～1月の間に面接選考会を一日かけて行います。数十人の応募学生の中から2630地区の採用枠（地区の寄付率で、採用枠が決まる）は13名です。以前は18～19名の枠が有りましたが、2630地区の寄付率低下の為少なくなっています。2月には、合格者リスト作成指定校指導教官の元に可否通達されます。3月には一年間及び二年間の奨学期間終了者の奨学金支給修了式（卒業式）を開催。振り出しの4月のオリエンテーションに向けての準備となります。

【お願い】RID2630地区全国34地区中30番目の寄付率です。次年度の寄付率目標を普通寄付金目標額¥5,000・以上・特別寄付金¥10,000・以上と致しました。米山記念奨学事業へのご理解と寄付金にご協力をお願い申しあげて、一年間の報告と致します。



感謝

地区代表幹事
梶井 収

「第2630地区 梶井収地区代表幹事」・・・「ハイ」

返事は好意のバロメーター、打てば響く「ハイ」の一言。入会当初、いろんな会合では、「返事」がありましたロータリーも変革していますが「基本」は大事であると思います。

いつも明るく、元気な岡田ガバナー、有難うございました。歴代のバスターガバナー、運営会議又、諮問委員会等々大変お世話になりました。ありがとうございました。

剣田GE、田山GNありがとうございました。又、12グループのガバナー補佐様、岡田ガバナーを支えていただきありがとうございました。地区委員会委員長の皆様、そして委員の方々お世話になりました。又、前年の佐藤さん、前々年の一色さん、ご指導有難うございました。

事務方ではなくてはならない地区事務所とガバナー事務所の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

最後に何と言っても我がクラブの地区幹事、会員の皆様の誠実な役割担当の活躍に対して感謝、お礼を申し上げます。一年以上の長きにわたりお世話になりました。ありがとうございました。



一年間のロータリー活動を振り返って

地区会計長
南条 吉雄

昨年のこの時期、財務委員会運営要綱を脇に抱え、大野会計長に指導を仰ぎつつ右往左往しておりました。あれから1年、第三4半期も終わりを迎えようとしています。

期首会員数3065名でしたが、中間では3119名の拠出金等の受け入れが出来ました。予算においては3050名であったのを鑑みれば、これは弛まざる会員増強の成果といえます。

さて、会計長の仕事は「地区会計事務規程」にある地区資金を管理・保管し、計算書類の作成を行うことです。「地区はクラブ支援のために在る」ということを基本に執行してきました。多くの会員との出会いは、私の人生の財産となりました。任務が遂行できたのは委員長、委員並びにクラブの皆様の協力のおかげです。事務運営においては、地区事務所、ガバナー事務所との連携を深めつつ、しっかり支えていただきました。決算まで5ヵ月、気を引き締めて任務にあたります。今後とも会員の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



第29回 第2600地区・第2620地区・第2630地区・第2760地区・第2830地区 青少年交換学生 白馬スキーの集い

2016年3月22日(火)~24日(木)
於：白馬山麓 白馬岩岳スキー場



「青少年交換学生白馬スキーの集いに参加して」

セシル・ロベ(フランス・大垣西RC)

3月22日~24日に行われた、「スキーの集い」に参加しました。

初日はまず松本城へ行き、そのあと、わさび園の見学をしました。お城はたいへん大きくて古く、わさびはすごくきれいな水の中にはえていました。お城もわさびもフランスにはなく、たいへんびっくりしました。

夜はスピーチがありました。今回は、フランスと日本の文化のちがい、特に日本に来て、おどろいたことを発表しました。前回のスピーチより長く話せたと思います。

2日目はスキーをしました。私は4歳の時からスキーをやっていたので、うまくすべれました。夜はビンゴなどのゲームをやったり、カラオケを楽しみました。

3日目はお昼ごろまでスキーをして、それからバスに乗って帰りました。他の地区の交換学生の子と友達になることもできました。たくさんの思い出もでき、非常に楽しかったです。

いろいろお手伝いをしてくださった、ロータリーの方や現地の高校生の方たちに心よりお礼を言いたいです。

【レポートは日本語で書いてくれました】

「スキー研修レポート」

ニクラス・ノリンデル(スウェーデン・伊勢南RC)

3/22(火)

すごく早く起きて、電車に乗って名古屋に留学生の集まりに行きました。その集まりは2630地区のロータリーの人たちと2760地区のロータリーの人たちです。それから一緒にバスの乗り場に行って、バスに乗って白馬まで行きました。途中で松本城に止まって、見学したり、食べたりしました。松本城は感動するぐらいきれいでした。2630地区の留学生たちとそばを食べました。

そのあとまたバスに乗って、白馬に泊まるホテルまで行きました。ロータリーの方のスピーチを聞いたり、おいしいご飯を食べたり、新しい友達と話したりしました。

夜にパフォーマンスをしました。そのパフォーマンスは地区の留学生が例えば、歌を歌ったり、ダンスをしたりしました。僕たちは「アナと雪の女王」の『ありのままの』という曲を歌いました。日本語で歌ってそのあと英語でうたいました。本当に楽しかったです。

3/23(水)

この旅行の間に初めてスキーやスノーボードをする日でした。残念だったけど雪が少なかったです。でも、もちろん楽しかったです。お昼ご飯は山の上にあったレストランで食べました。四時ぐらいにホテルに戻りました。

ホテルでダンスを見たり、スピーチを聞いたりしました。そのあとで、バイキングのご飯を食べながらビンゴをしました。夜にカラオケディスコをしました。すごくいい日だと思いました。

3/24 (木)

朝から十一時五十分までスノーボードをしました。またその山の上にあったレストランでお昼ご飯を食べました。十一時五十分ホテルに戻って、またスピーチを聞いて、いろいろな写真を撮って、バスに乗って名古屋に帰りました。それからカイル君と名古屋から伊勢市の方までの電車と一緒に帰りました。

この旅行はすごくいい経験になりました。いろいろな友達ができました。本当にありがとうございました。

【レポートは日本語で書いてくれました】

「スキー研修」

派遣候補生 幅 はるか(各務原RC)

私は今回のスキー研修で、たくさんの新しい友達ができました。

ついこの間私たちの2630地区の仲間になった、佐野君と森君。二人ともとても積極的な人で、すぐに打ち解け、一日目の夕食の後のPRでも、楽しくお話しました。それから、2760地区の仲間たち。私と同じ、フランスへの候補生がいました。共通の話題がロータリーに関することも多く、相談相手ができ、とても励ましになりました。もちろん、ほかの国に行く子達ともすごく仲良くなりました。

一日目の夜、私は大浴場へ行きました。そこでは何人かの先輩に出会いました。アメリカに行った方や、フランスに行った方、様々な経験をしてきたローテックスの方々に勇気づけられました。

私は、今回初めてスキーをしました。初心者のコースには、日本人もいましたが、外国人が多かったと思います。その中には、日本語がそこまで達者でない子もいました。しかし、ジェスチャーなどを交え、「難しいね」、「がんばろう!!」と、お互いに励ましあいながら、コミュニケーションをとっていました。そこでまた、友達が増えました。一緒に転んで、一緒に努力したから生まれた関係だと思っています。

そして、二日目のダンスとカラオケのパーティーでは、もっと多くの人と、年齢、国籍、性別など関係なしに楽しみました。一度も話したことのない人とも、手を取り合って、踊りました。とても、とても楽しかったです。さらに、普段少し控えめなセシルが、「行きたい?」「行こう!!」と何度も声をかけてくれて、うれしかったです。

ほかにも書ききれないほど多くの出会いと、進展がありました。これもすべて私にこんな素晴らしい機会を与えてくださったロータリーの皆様のおかげだと、心から感謝します。本当にありがとうございます。目前に控える、犬山でのバーベキューや、次のオリエンテーションなど、とても楽しみです。私が留学できるとすれば、出発まで残り半年を切っています。カイル、ニック、セシルと一緒にいられるのも2~3か月です。これからの日々を大切に、OUTBOUNDSにとってもいい思い出を作りたいです。

文庫通信 343号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

・ロータリアンの矜持・

◎「ロータリアンの矜持」	藤川 享胤	2015	1p (D.2800月信)
◎「ロータリーの親睦」	松田 泰長	2016	1p (D.2790月信)
◎「親睦の真意は」	櫻木英一郎	2016	1p (D.2790月信)
◎「“そよ風に 稲田のかおり 山深し”(ロータリーに輝きを)」	久野 薫	2015	1p (D.2680月信)
◎「ロータリーのバッジはいいバッジである」	塚原 房樹	2015	1p (D.2510月信)
◎「いま求められる寛容の精神“Toleration”」	塚原 房樹	2016	2p (D.2510月信)
◎「続・国際ロータリーの変質」	新藤 信之	2015	20p
◎「『クラブ戦略委員会に関するアンケート』回答要約」	村橋 義晃	2016	2p (D.2660月信)
◎「ロータリー創立記念日に纏わる遊び種」	神崎 正陳	2010	9p

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2016年3月分

グループ	ク ラ ブ	出席率	例会数	期末	会 員 数			
					期首	月末	うち女性	増減
岐阜 A	岐 阜	85.04	4	88	88	87	0	-1
	岐 阜 西	81.65	3	54	54	54	0	0
	岐阜長良川	94.31	3	53	53	54	0	1
	岐 阜 北	87.09	4	32	32	31	3	-1
	岐 阜 中	79.03	4	31	31	31	1	0
	グループ計(5)	85.42		258	258	257	4	-1
岐阜 B	岐 阜 南	83.25	5	74	74	82	3	8
	岐 阜 東	77.22	4	51	51	50	1	-1
	岐阜東南	82.59	4	32	32	36	0	4
	岐阜加納	81.38	4	59	59	60	0	1
	岐阜エトス	57.33	3	13	13	14	1	1
	岐 阜 城	82.54	4	17	17	19	1	2
	岐阜中山道	84.87	5	13	13	13	3	0
	グループ計(7)	78.45		259	259	274	9	15
岐阜 西濃	大 垣	81.22	4	84	84	90	0	6
	大 垣 西	88.36	4	79	79	82	0	3
	本 巢	80.60	4	28	28	31	0	3
	羽 島	88.51	5	31	31	31	3	0
	不 破	76.73	4	31	31	29	0	-2
	大 垣 中	83.05	4	38	38	41	0	3
	大垣センチュリー	74.34	3	49	49	51	1	2
	岐阜淡墨	98.46	5	13	13	13	1	0
	岐阜サンバー	87.04	3	20	20	20	4	0
	不破の関	69.23	4	13	13	13	0	0
	グループ計(10)	82.75		386	386	401	9	15
岐阜 東濃	多 治 見	80.95	4	43	43	49	3	6
	中 津 川	91.22	4	65	65	71	2	6
	瑞 浪	95.66	4	57	57	58	0	1
	恵 那	83.33	4	38	38	35	0	-3
	土 岐	96.58	3	40	40	41	1	1
	多治見西	79.50	4	38	38	39	4	1
	中津川センター	81.82	3	43	43	44	0	1
	多治見バーサド	84.84	4	35	35	36	1	1
	グループ計(8)	86.74		359	359	373	11	14
東海 北陸道	美 濃	79.06	5	32	32	33	0	1
	各 務 原	57.97	4	23	23	21	0	-2
	関	82.28	5	46	46	46	2	0
	郡上八幡	92.00	5	42	42	41	0	-1
	関 中 央	83.93	4	32	32	32	0	0
	郡上長良川	74.61	5	25	26	26	2	0
	各務原中央	64.12	4	27	27	29	0	2
	各務原かかみの	88.57	5	14	14	14	4	0
	グループ計(8)	77.82		241	242	242	8	0
濃 飛	高 山	83.13	4	39	39	41	0	2
	下 呂	80.70	3	14	14	19	0	5
	高 山 西	79.76	4	44	44	42	0	-2
	美濃加茂	82.49	4	27	27	30	4	3
	可 児	80.17	4	28	28	29	0	1
	可 茂	90.00	4	16	16	15	3	-1
岐阜県合計(45)	高山中央	88.51	3	55	55	57	4	2
	グループ計(7)	83.54		224	223	233	11	10
岐阜県合計(45)		82.33		1,726	1,727	1,780	52	53

グループ	ク ラ ブ	出席率	例会数	期末	会 員 数			
					期首	月末	うち女性	増減
桑 名 員	桑 名	96.11	3	44	44	43	0	-1
	桑 名 西	82.37	5	34	35	37	0	2
	桑 名 中央	83.59	4	32	32	32	1	0
	桑 名 北	93.18	4	32	32	33	9	1
	グループ計(4)	88.81		142	143	145	10	2
四 日 市	四 日 市	97.86	5	99	99	97	0	-2
	四日市北	87.63	5	18	18	19	4	1
	四日市西	93.33	4	54	54	60	4	6
	四日市南	84.09	4	36	36	33	2	-3
	四日市東	100.00	3	40	40	40	1	0
	グループ計(5)	92.58		247	247	249	11	2
鈴 鹿 ・ 亀 山	鈴 鹿	80.34	5	57	57	59	8	2
	鈴 鹿 西	69.70	5	43	43	43	7	0
	鈴 鹿 ベイ	73.81	3	11	11	14	0	3
	亀 山	87.54	3	15	15	16	0	1
	鈴鹿シティ	82.50	5	59	62	64	3	2
	グループ計(5)	78.78		185	188	196	18	8
中 勢 ・ 伊 賀	津	92.86	5	60	61	60	2	-1
	上 野	96.36	5	36	36	36	0	0
	名 張	87.45	3	38	38	36	0	-2
	津 南	98.96	4	46	46	50	1	4
	津 北	78.79	5	39	39	42	3	3
	上 野 東	100.00	4	37	37	37	0	0
	久 居	83.87	3	33	33	33	0	0
	名張中央	84.43	5	28	28	25	1	-3
	グループ計(8)	90.34		317	318	319	7	1
松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	88.73	4	67	67	71	0	4
	松 阪 東	81.66	4	57	57	59	11	2
	熊 野	73.14	5	32	32	35	3	3
	尾 鷲	55.55	5	11	11	12	2	1
	松阪山桜	87.84	4	34	34	37	4	3
	グループ計(5)	77.38		201	201	214	20	13
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	86.80	5	61	61	59	0	-2
	鳥 羽	82.38	4	35	36	34	4	-2
	伊 勢 南	92.89	5	38	38	39	0	1
	志 摩	75.19	5	45	45	45	11	0
	伊勢中央	94.68	4	46	46	47	0	1
	伊勢度会	92.30	4	14	14	13	2	-1
	グループ計(6)	87.37		239	240	237	17	-3
三重県合計(33)		86.24		1,331	1,337	1,360	83	23
地 区 合 計(78)		83.99		3,057	3,064	3,140	135	76

■ 2015年3月(前年度)出席報告

	出席率	期 首	月 末	うち女性	増 減
岐阜県合計(47)	84.76	1,712	1,781	47	69
三重県合計(33)	86.53	1,337	1,359	77	22
地 区 合 計(80)	85.49	3,049	3,140	124	91

〈注〉グループ、県、地区の出席率は全てグラフ数で計算した。

受章

入会会員

名張RC	岐阜RC	岐阜南RC	大垣西RC	多治見RC	多治見RC	瑞浪RC	多治見西RC
							
亀井喜久雄 藍綬褒章 【平成27年秋の褒章】	大嶋主税 2016.3.25入会 電気設備工事	安田秀成 2016.3.10入会 土木建築資材配布	山田達也 2016.3.1入会 歯科技工	愛知直人 2016.3.2入会 警備保障	笠鳥早苗 2016.3.2入会 社会保険労務士	肩野宏俊 2016.3.4入会 畜産業	加藤三紀 2016.3.3入会 不動産賃貸業

高山中央RC	高山中央RC	高山中央RC	桑名中央RC	津南RC	尾鷲RC	伊勢南RC
						
古橋ひと実 2016.3.7入会 飲食店	平川りさ 2016.3.7入会 化粧品販売	海老沢玲子 2016.3.28入会 菓子製造業	酒井 隆 2016.3.4入会 土木舗装業	千原一典 2016.3.8入会 証券業	長野公昭 2016.3.15入会 医師	中津光正 2016.3.3入会 土木建設

退会会員

所属クラブ	氏 名	性別	退会年月日
岐 阜	三 木 仁 人	男	2016.3.18
岐 阜	木 村 真 教	男	2016.3.30
岐 阜	三 澤 太 輔	男	2016.3.30
岐 阜 南	小 阪 博 司	男	2016.3.24
岐 阜 南	川 上 正 衡	男	2016.3.31
恵 那	松 田 晴 美	男	2016.3.31
四 日 市	徳 永 賢 二	男	2016.3.31
四 日 市	仙 波 修 二	男	2016.3.31
四 日 市	寶 珠 山 秀 久	男	2016.3.31
鈴 鹿 西	宮 崎 和 郎	男	2016.3.31

所属クラブ	氏 名	性別	退会年月日
津	加 井 野 重 人	男	2016.3.24
津	片 岡 明 典	男	2016.3.31
津	石 井 昭	男	2016.3.31
津 北	中 川 勝 敬	男	2016.3.31
名 張	森 実 通	男	2016.3.24
名 張	家 里 英 夫	男	2016.3.31
上 野 東	葛 原 香 積	男	2016.3.1
松 阪 東	中 村 猪 佐 武	男	2016.3.31
伊 勢	西 尾 進 一 郎	男	2016.3.31
志 摩	寺 本 稔	男	2016.3.31

逝 去 会 員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

大垣RC	中津川RC	多治見西RC	四日市RC	四日市RC
				
松井永二 (名誉会員) 1974.1.9入会 2016.3.6逝去 1992-93年度 会長 ポール・ハリス・フェロー 米山功労者	吉村美保子 2010.7.1入会 2016.3.12逝去 米山功労者	大嶽政彦 2011.7.7入会 2016.3.21逝去 2014-15年度 副幹事 米山功労者	伊達貫一郎 1986.6.26入会 2016.3.1逝去 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 米山功労者マルチプル	加藤 泰 1993.3.4入会 2016.3.5逝去 2006-07年度 会長 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 米山功労者マルチプル



3学期も終わりに近づいたある日、熊野ロータリークラブに一通のはがきが届きました。そこには、毎年熊野ロータリークラブが新入学児童に送る交通安全ランドセルカバーにまつわる話が記されていました。

今年も、3月22日に熊野市役所にて贈呈式を行いました。熊野市と南牟婁郡の御浜町、紀宝町そして隣接する奈良県下北山村の新入学児童に計280枚の寄贈をいたしました。この度は、全く見ず知らずの元ロータリアンからのお便りに心が癒され、とても幸せな気持ちになりました。熊野ロータリークラブの皆さんに紹介しましたが、2630地区の皆様にも紹介させていただきたく思いまして、ご本人に了解を得ましたので月信に投稿いたします。

「突然お便りする非礼をお許しください。私は2月まで明石ロータリークラブに在籍（法人会員のため異動により後任と交替）していた者です。あるところで貴クラブの名前をお見かけし、心温まる思いをしましたので、お知らせしたく筆をとりました。私はRC活動とは別に神戸市西区の自宅近くで小学生の登校見守りをしています。昨年9月から、一人の女兒が神戸市西区内の小学校で配布するものとは違うランドセルカバーを付けて登校し始めました。後ろから見ると『熊野ロータリークラブ』と書いてあり、貴クラブが新1年生に贈られたものと分かりました。その児童は2学期に神戸市立美賀多台小学校へ転校してきたのでしょうか。転校しても新1年生となった熊野市の思い出を抱いて一人で登校する姿は小さいながら、しっかりとしていました。しばらくして名前を聞くと「シオザキ」というような返事でした。1年生も終わりとなる時期ですが、まだ一人で登校しています。やがて2年生となり新しい友達と登校できればと期待しています。 蓑田俊輔 明石RC 明石市本町1-1-32明石商工会館3階」

地域のお客さまの身近で頼れる銀行である。
広域な店舗展開によるネットワークがある。
経営課題に応えるソリューション力がある。

よし、第三銀行でいこう。

第三銀行、
という選択肢。

第三銀行



2015-16年度 地区事務所・ガバナー事務所 案内

各地区委員会への連絡・問い合わせ	地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30~17:30 (土・日・祝日 休務)
	ガバナー事務所	〒513-0809 三重県鈴鹿市西条4-20 ギャラリーオカトモ102 TEL 059-381-2630 FAX 059-381-2631 E-mail 1516@rid2630.org	執務時間 9:30~16:00 (土・日・祝日 休務)

ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー
ガバナー補佐・地区幹事への連絡・問い合わせ

ガバナー事務所

〒513-0809 三重県鈴鹿市西条4-20 ギャラリーオカトモ102
TEL 059-381-2630 FAX 059-381-2631 E-mail 1516@rid2630.org

執務時間 9:30~16:00
(土・日・祝日 休務)

DISTRICT 2630 2015-2016
S U Z U K A